

1月
長ねぎ

板橋ふれあい農園会給食だより

「板橋ふれあい農園会」とは、板橋区で農産物を作っている区内の農家の方の会です。学校に新鮮で安全な野菜を届けてくださいます。

今回お届けする「長ねぎ」は、^{やまぐちけんじ}山口賢治さん、^{そめみやとしあき}染宮利章さん、^{いしいのりひろ}石井規弘さん、^{きむらしげお}木村繁夫さん、^{たなかこうたろう}田中耕太郎さんを中心に作っていただきました。



板橋区食育キャラクター
「いたばち」

◆◆◇◇長ねぎができるまで◇◇◆◆

1 種まき(3月上旬)

畑に種をまきます。
芽が出て成長したら、苗と呼びます。



2 苗植え(4か月後の7月上旬)

小指程度の太さ、40~50cmぐらいまで育った苗を、畑を深く掘ったところに植えかえます。

3 土寄せ(9月から12月まで)

長ねぎの成長に合わせて、根元に土をかけます。この作業を「土寄せ」といいます。収穫までに、4~5回行います。土をかけた日の当たらない部分が長ねぎの白い部分になります。



長ねぎが伸びた部分。
この上部まで土をかけます。

4 収穫(種まきから10か月後の1月)

^{くわ}鋤で、長ねぎの周りの土を取り除いてから、収穫します。そして、出荷前には長ねぎを一皮むいてきれいにします。

長ねぎをきずつけないよう、特別なスコップを使って掘り出すこともあります。

フォークのような形の特別なスコップ

